



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月10日

上場会社名 長野計器株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7715 URL <http://www.naganokeiki.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 正継
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理部担当 (氏名) 角龍 徳夫 TEL 03-3776-5333
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

百万円未満切捨て

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	32,812	△8.5	1,058	△7.5	1,029	△8.8	499	△20.6
2020年3月期第3四半期	35,856	△10.5	1,144	△51.3	1,129	△51.3	628	△61.9

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 2,007百万円 (140.3%) 2020年3月期第3四半期 835百万円 (17.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	25.94	—
2020年3月期第3四半期	32.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	50,258	25,866	50.0
2020年3月期	46,666	24,289	50.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 25,118百万円 2020年3月期 23,552百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	11.00	—	11.00	22.00
2021年3月期	—	11.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,906	△10.5	1,358	△41.1	1,220	△45.9	581	△63.4	29.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	19,432,984株	2020年3月期	19,432,984株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	182,635株	2020年3月期	186,019株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	19,248,051株	2020年3月期3Q	19,335,558株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、企業活動が大きく後退し、極めて厳しい状況となりました。

わが国経済においても、新型コロナウイルス感染症の拡大が2020年初頭より経済活動を急激に減速させており、当第3四半期においては需要の持ち直しがみられますが、累計ベースでは自動車業界を中心とした輸送機械が大幅な減産となり、個人消費では外食、旅行などのサービス業が大きな打撃を受けました。一方で、テレワーク拡大等を背景に、電子部品及び情報通信機器の分野では需要の拡大がみられました。

このような状況のもと、当社グループでは、新型コロナウイルス感染症に対しては従業員並びに関係する皆様の安全・安心を第一と考え、感染予防策を実施したうえで工場における通常操業を継続し、製品の安定供給に努めてまいりました。

当第3四半期の業績につきましては、米国子会社においては、新型コロナウイルス感染症の拡大によるエネルギー需要の減退、並びに米国経済の落込みの影響を受けて、主力のプロセス関連製品及び産業機械関連製品を中心に、売上が減少いたしました。国内においては、需要の持ち直しはみられるものの、案件延期などの影響により設備投資需要が伸び悩み、さらに年度前半の自動車業界向需要の減速影響を受けて、自動車搭載用の圧力センサの売上減に加えて、自動車業界を主要取引先としているエアリークテスター及びダイカスト製品の売上が減少いたしました。これにより、売上高は328億12百万円（前年同期比8.5%減）となりました。損益面につきましては、経費削減等の諸施策の実施により一定の効果がでておりますが、売上高減少の影響を補うまでには至らず、営業利益は10億58百万円（前年同期比7.5%減）、経常利益は10億29百万円（前年同期比8.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億99百万円（前年同期比20.6%減）となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

圧力計事業

圧力計事業では、米国子会社においては、新型コロナウイルス感染症の拡大による需要減退の影響で受注環境が一般的に悪化し、特にプロセス関連、産業機械関連製品の売上が減少いたしました。国内においては、半導体業界向売上は増加いたしました。産業機械業界向、プロセス業界向、空調管材業界向の売上が減少いたしました。この結果、圧力計事業の売上高は164億74百万円（前年同期比4.3%減）となりました。

圧力センサ事業

圧力センサ事業では、米国子会社においては、圧力計事業と同様に、新型コロナウイルス感染症の拡大による米国経済への影響により需要が落ち込み、産業機械業界向の売上が減少いたしました。国内においては、半導体業界向の売上が増加し、第3四半期会計期間では持ち直しがみられるものの、産業機械業界向の売上が減少し、量産品である自動車搭載用圧力センサ及び建設機械用圧力センサの売上も減少いたしました。この結果、圧力センサ事業の売上高は95億58百万円（前年同期比7.5%減）となりました。

計測制御機器事業

計測制御機器事業では、圧力発生器、工場生産自動化設備用の空気圧機器、自動車・電子部品関連業界向のエアリークテスターの売上が減少いたしました。この結果、計測制御機器事業の売上高は31億56百万円（前年同期比9.5%減）となりました。

ダイカスト事業

ダイカスト事業では、第3四半期会計期間では需要の持ち直しがみられるものの、自動車業界を主要取引先としているダイカスト製品の売上が減少いたしました。この結果、ダイカスト事業の売上高は24億54百万円（前年同期比19.4%減）となりました。

その他事業

その他事業では、自動車用電装品の売上が減少いたしました。この結果、その他事業の売上高は11億68百万円（前年同期比34.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は502億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ35億92百万円増加いたしました。主な要因は、投資有価証券の時価評価等により投資有価証券が増加したことによります。

負債は243億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億15百万円増加いたしました。主な要因は、借入による短期借入金が増加したこと及び投資有価証券の時価評価により繰延税金負債が増加したことによります。

また、純資産は258億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億76百万円増加いたしました。主な要因は、その他有価証券評価差額金が増加した一方、為替換算調整勘定が減少したことによります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末比0.5ポイント減の50.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年10月22日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,822,817	7,755,567
受取手形及び売掛金	8,941,960	8,271,646
電子記録債権	1,098,066	1,320,067
たな卸資産	10,408,713	10,621,793
その他	680,116	790,205
貸倒引当金	△203,938	△170,918
流動資産合計	27,747,735	28,588,362
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,009,650	11,091,447
減価償却累計額	△8,748,495	△8,915,680
建物及び構築物(純額)	2,261,154	2,175,767
機械装置及び運搬具	20,255,305	19,854,180
減価償却累計額	△17,372,282	△17,214,892
機械装置及び運搬具(純額)	2,883,022	2,639,288
土地	4,356,724	4,347,006
リース資産	995,476	1,102,093
減価償却累計額	△602,439	△696,471
リース資産(純額)	393,036	405,622
建設仮勘定	527,409	767,863
その他	4,437,347	4,418,429
減価償却累計額	△4,111,157	△4,125,036
その他(純額)	326,190	293,392
有形固定資産合計	10,747,538	10,628,940
無形固定資産		
のれん	137,041	127,497
リース資産	61,470	41,190
その他	842,516	896,188
無形固定資産合計	1,041,028	1,064,876
投資その他の資産		
投資有価証券	5,743,863	8,610,317
退職給付に係る資産	24,368	24,919
繰延税金資産	507,010	504,723
その他	1,102,493	1,188,431
貸倒引当金	△247,992	△352,484
投資その他の資産合計	7,129,743	9,975,906
固定資産合計	18,918,310	21,669,723
資産合計	46,666,045	50,258,085

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,706,806	3,302,110
短期借入金	5,862,295	7,111,629
1年内返済予定の長期借入金	1,192,227	1,129,471
リース債務	184,938	165,852
未払法人税等	479,525	393,385
賞与引当金	861,337	527,515
その他	1,981,418	2,386,815
流動負債合計	14,268,550	15,016,781
固定負債		
長期借入金	4,292,463	4,555,694
リース債務	333,506	338,869
繰延税金負債	503,037	1,469,713
役員退職慰労引当金	95,564	103,798
退職給付に係る負債	2,668,470	2,717,641
株式給付引当金	12,755	61,582
資産除去債務	32,949	32,949
その他	168,941	94,513
固定負債合計	8,107,687	9,374,763
負債合計	22,376,238	24,391,544
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,380,126	4,380,126
資本剰余金	4,451,407	4,451,407
利益剰余金	14,378,639	14,450,747
自己株式	△126,569	△124,276
株主資本合計	23,083,603	23,158,005
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,126,278	4,141,562
為替換算調整勘定	△992,255	△1,561,753
退職給付に係る調整累計額	△664,748	△619,601
その他の包括利益累計額合計	469,275	1,960,207
非支配株主持分	736,928	748,327
純資産合計	24,289,807	25,866,540
負債純資産合計	46,666,045	50,258,085

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	35,856,250	32,812,250
売上原価	25,953,541	23,366,102
売上総利益	9,902,708	9,446,148
販売費及び一般管理費	8,758,602	8,387,906
営業利益	1,144,106	1,058,241
営業外収益		
受取利息	23,632	7,890
受取配当金	127,744	126,735
持分法による投資利益	64,637	35,795
雇用調整助成金	—	95,610
その他	105,319	125,825
営業外収益合計	321,333	391,856
営業外費用		
支払利息	184,217	146,971
為替差損	64,139	148,196
その他	88,004	125,280
営業外費用合計	336,362	420,448
経常利益	1,129,077	1,029,649
特別利益		
固定資産売却益	2,072	531
特別利益合計	2,072	531
特別損失		
固定資産売却損	1,037	1,684
固定資産除却損	7,647	3,273
特別損失合計	8,684	4,958
税金等調整前四半期純利益	1,122,465	1,025,222
法人税、住民税及び事業税	386,995	392,919
法人税等調整額	78,369	117,399
法人税等合計	465,364	510,318
四半期純利益	657,100	514,904
非支配株主に帰属する四半期純利益	28,642	15,623
親会社株主に帰属する四半期純利益	628,458	499,280

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	657,100	514,904
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	505,396	2,017,052
為替換算調整勘定	△321,180	△555,328
退職給付に係る調整額	51,395	45,146
持分法適用会社に対する持分相当額	△57,371	△14,038
その他の包括利益合計	178,240	1,492,832
四半期包括利益	835,341	2,007,736
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	802,530	1,991,154
非支配株主に係る四半期包括利益	32,811	16,582

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)3
	圧力計	圧力センサ	計測制御 機器	ダイカスト	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	17,212,853	10,333,224	3,486,914	3,045,907	34,078,900	1,777,349	35,856,250	—	35,856,250
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	790	29,813	3,541	—	34,145	1,640	35,785	△35,785	—
計	17,213,644	10,363,038	3,490,456	3,045,907	34,113,045	1,778,989	35,892,035	△35,785	35,856,250
セグメント利益	574,563	292,231	114,866	51,882	1,033,544	106,593	1,140,137	3,969	1,144,106

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び自動車用電装品事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額3,969千円は、セグメント間取引消去の金額となります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)3
	圧力計	圧力センサ	計測制御 機器	ダイカスト	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	16,474,187	9,558,643	3,156,157	2,454,751	31,643,739	1,168,510	32,812,250	—	32,812,250
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	864	18,636	3,606	—	23,107	102	23,209	△23,209	—
計	16,475,051	9,577,280	3,159,763	2,454,751	31,666,847	1,168,612	32,835,460	△23,209	32,812,250
セグメント利益 又は損失(△)	303,484	496,004	201,588	△10,842	990,236	61,876	1,052,112	6,129	1,058,241

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び自動車用電装品事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額6,129千円は、セグメント間取引消去の金額となります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。